

問題 D 嚥下リハビリ

問 1 舌接触補助床で改善できるのはどれか2つ選びなさい。

1. 睡眠障害
2. 構音障害
3. 開口障害
4. 関節円板障害（関節円板とは顎関節の調節を行う部分）
5. 摂食・嚥下障害

問 2 義歯の装着で改善しないのはどれか選びなさい。

1. 咀嚼障害
2. 嚥下障害
3. 知覚障害
4. 構音障害
5. 顔貌変形

問 3 横向き嚥下に関して、正しいものを選びなさい。

1. 咽頭残留防止目的の場合は、嚥下後に咽頭機能の悪い方へ頸部を回旋させて嚥下する。
2. 咽頭残留防止目的の場合は、嚥下前に咽頭機能の良い方へ頸部を回旋させて嚥下する。
3. 咽頭残留除去目的の場合は、嚥下前に残留のある側と反対側へ頸部を回旋させて嚥下する。
4. 咽頭残留除去目的の場合は、嚥下後に残留のある側と反対側へ頸部を回旋させて嚥下する。

問 4 気管カニューレ装用患者の嚥下訓練について正しいのはどれか。正しい組み合わせを選びなさい。

- a. カフの過膨張は食塊の通過を制限しない。
- b. 吸引を頻回に行う。
- c. カフ無しカニューレは誤嚥の可能性がある。
- d. カニューレの種類の違いは嚥下機能に影響を及ぼさない。
- e. カニューレの交換を頻回に行う必要がある。

- ① a、b ② a、e ③ b、c ④ c、d ⑤ d、e

問題 D 嚥下リハビリ

- 問 5 咽頭期嚥下障害の間接訓練はどれか。正しい組み合わせを選びなさい。
- 両唇音の構音訓練
 - 舌の運動訓練
 - バルーン拡張法
 - 頭部拳上訓練
 - 咀嚼訓練
- ① a, b ② a, e ③ b, c ④ c, d ⑤ d, e
- 問 6 嚥下訓練について間違っているものを選びなさい。
- プリンやヨーグルトは嚥下が容易なので嚥下訓練に適している。
 - 汁物やお茶などは増粘剤を溶かして用いるとよい。
 - 体温と同じ温度の食べ物は嚥下反射を起こしにくいので嚥下訓練には適している。
 - 喉のアイスマッサージは嚥下反射を一時的に誘発する。
 - 横向き嚥下により咽頭に残留した食塊を除去することができる。
- 問 7 摂食・嚥下障害の様相と嚥下法について誤った組み合わせを2つ選びなさい。
- 喉頭挙上遅延 — 交互嚥下
 - 固形物の咽頭残留 — 息止め嚥下
 - 咽頭収縮不全 — 努力嚥下
 - 喉頭挙上不全 — マンデルブーン法
 - 食道入口部開大不全 — 反復嚥下
- 問 8 嚥下訓練開始の条件とした誤っているのはどれか選びなさい。
- 意識が清明である。
 - 意志の疎通が図れる。
 - 口から食べたいという意欲がある。
 - 嚥下時にむせない。
 - 自力で空咳ができる。

問題 D 嚥下リハビリ

問 9 嚥下途中の断面の模式図を示す。

この期の舌運動を訓練する発音として適切なのはどれか選びなさい。

1. パ行
2. マ行
3. タ行
4. カ行

